

②

二〇二六年度（令和八年度）

福山市立福山中学校入学者選抜せんぱつ

適性検査

検査2 問題

（時間 四十五分）

【注意事項】じゆんじゆ

- 1 指示があるまで、中を見てはいけません。
- 2 問題用紙に、受検番号と名前を記入しなさい。  
(受検番号は入学者選抜受検票の番号です。)
- 3 二枚の解答用紙に、それぞれ受検番号を記入しなさい。
- 4 問題は、二つあります。
- 5 解答は、すべて解答用紙に記入しなさい。
- 6 解答用紙の※印のあるところには、記入してはいけません。
- 7 問題用紙の余白は、メモに使っても構いません。

受検番号	
第	番

名前

次の文章を読んで、あとの問題に答えなさい。

将来の進路について悩む主人公の「和花」が、兄の喜太郎の紹介で、「手紙屋」という謎の人物と手紙のやりとりをすることになりました。和花は、大学に行きたいけれど、そのための勉強をしたくなくて、言い訳ばかり探している自分を変えたいと思い、手紙を書きました。すると、手紙屋から『勉強は何をするための道具か?』について考える宿題が出ました。和花は、いろいろと考えた結果「勉強は、将来の選択肢を広げるための道具」と結論づけました。自分の答えに納得できないまま手紙を出すと、手紙屋から返信がありました。

『勉強は何をするための道具か?』

という問いに、一つの明確な解答を出すことはできません。

「そんなあ」と思いかもしれませんが、もう少しわかりやすいように、別の角度から考えてみることにしましょう。

「電気という道具は何のためにあるの?」

「夜でも明かりがつくから、暗くなっても昼間と同じような生活ができる」

と答える人もいるでしょう。別の人はこう言うかもしれません。

「電気があれば冷蔵庫が使えるよ。つまり、食品を腐らせずに保存することができる」

ほかに、エアコンやドライヤー、テレビや電子レンジだって使える。

電気があることによって私たちが手にする恩恵は、あげればきりがありません。

でも、だからといって、

「電気という道具はドライヤーを使うために存在する」

と思う人はいないだろうし、

「俺は丸坊主だからドライヤーを使わない。だから、電気なんていらん」

ということにはならない。

じゃあ、「電気」という道具の存在理由を定義することはできないのかというと、そんなことはありません。電気があることによって利用できるこれらすべてのものは、広い意味でいえば、ある共通した一つの目的のためにつくられていることに気がつきませう。

そう、私たち人間の生活を便利にするためにつくられているのです。

というわけで、具体的な一つの解答を出すことはできませんが、

「電気は、私たちの生活を便利にするための道具である」

という点では共通していそうです。

ですから、生活を便利にするために使っているうちは正しい使い方だけれど、自分や他人の生活を不便にするような使い方は間違っているといえるわけです。

あなたが自分の答えに対して感じた違和感は、これに近いものではないでしょうか？

具体的にいえば、勉強という道具を使えば「大学生活」が手に入るといえるのは事実ですが、だからといって、「大学生活を手に入れるために勉強という道具がある」と結論づけることはできない。ましてや、「じゃあ、私は大学に行かないから勉強は必要ない」と考えるのも、やはりおかしいというわけなんです。

ただ、先ほどの例でもわかるように、勉強という道具を使って手に入れられるものをたくさんあげていけば、ある一つの共通点を見つけることはできます。それを探してみてもいいのです。

あなたがそれを見つけやすいように、私もいくつか勉強という道具を使うことによって手に入るものをあげてみようと思います。

まず、よく言われるのは、勉強という道具を使って『忍耐力』を鍛えることができるということ。

どんなに勉強が楽しいという人でも、続けていくうちに壁にぶち当たるもの。それを越えるのは忍耐のいる作業です。越えても越えても、壁はやってきます。そして、越えれば越えるほど、また次の壁を越えるための忍耐が必要になるのです。

また、『自信』を手に入れることもできます。

何度も壁を乗り越えることで、小さな成功をたくさん経験することができます。これも、勉強という道具を使って手に入るものうちのひとつといえます。場合によっては、大きな成功体験を手にもあるでしょう。たとえば「大学合格」のように。こうした成功体験を積み重ねることによって、人生を自分らしく生きていく上で必要な『自分に対する自信』を手に入れることができます。

ほかにもたくさんの方が手に入ります。記憶力、判断力、応用力などが鍛えられ、ひいては『脳を活性化』することができず。「脳」を鍛えるのは、よりよい人生を送る上で不可欠なことですよ。

また、人からものを習うことによって、『素直な心』を学ぶことができます。人から何かを学んで成長する一番の方法は、自分の持っているこだわりを一度全部捨てて、相手の持っているものをそのまま素直に受け入れてみようとするところからです。

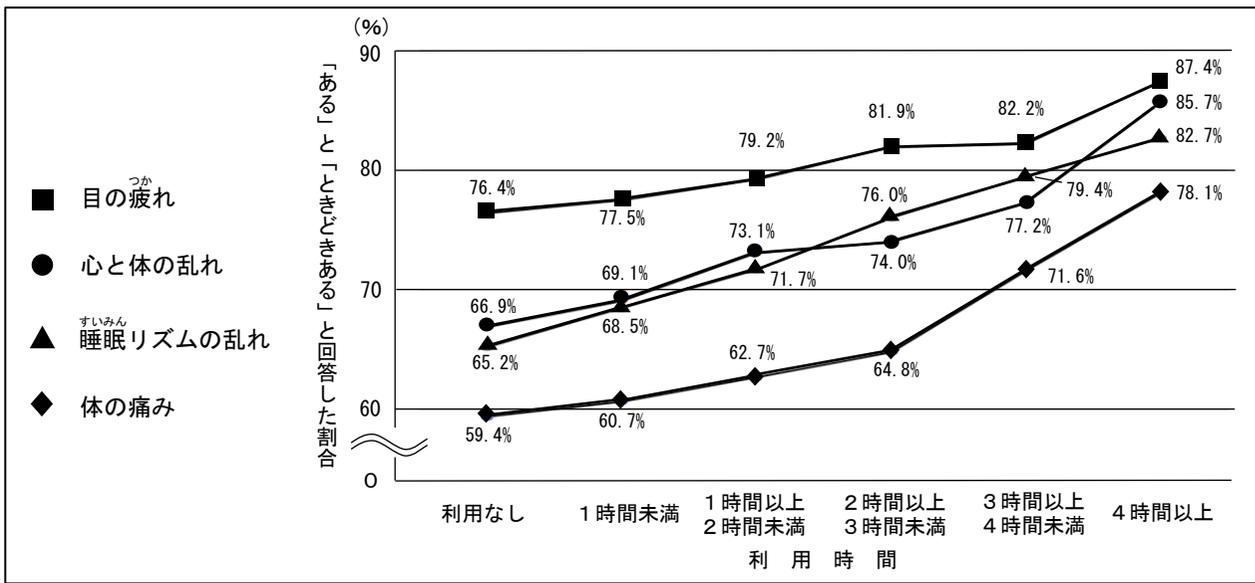
それから忘れてはいけないのは、「勉強」という道具を使うことによって、いろいろな人の気持ちが変わるようにもなるということ。

喜多川 泰 『手紙屋』 螢雪篇く私の受験勉強を変えた十通の手紙く「ディスカヴァー・トゥエンティワン

(注) 恩恵：利益や幸福となるもの。

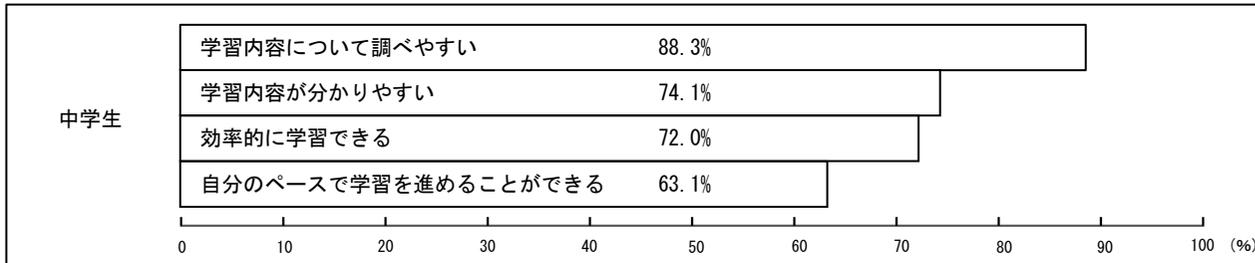
問題1 勉強という道具を使って手に入れられるものを、本文に挙げられているもの以外で二つ考えて書きなさい。またその際、本文に挙げられているものと自分で考えた勉強という道具を使って手に入れられるもの共通点を、理由とともに百五十文字以内で書きなさい。

あなたは、中学校に入学したばかりの新生入生に向けて、ICT機器とのよりよいつき合い方について呼びかけるための発表をすることになりました。次の資料①・②・③は、発表原稿を作るために集めた資料です。



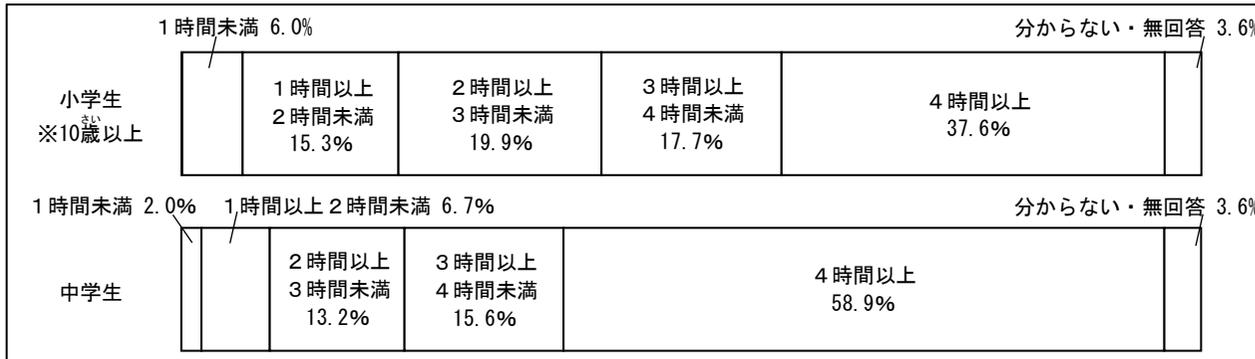
資料① 「中学生の平日1日当たりの学習以外のインターネット利用時間と、健康被害の自覚症状の関連」

参考：群馬大学情報学部 伊藤賢二「インターネット利用と健康に関するアンケート調査報告書」(2021年12月～2022年1月)をもとに作成



資料② 「学校でICT機器を使うことについて、どのように感じますか。」

参考：東京大学社会科学研究所・ベネッセ教育総合研究所共同研究プロジェクト「子どものICT利用に関する調査2023」をもとに作成



資料③ 「小学生と中学生の1日当たりのインターネットの利用時間」

参考：こども家庭庁「令和6年度 青少年のインターネット利用環境実態調査 調査結果(概要)」をもとに作成

【注】 ICT機器：スマートフォンやコンピュータなど、情報をあつかう道具のこと。

【発表原稿】

みなさんは、ICT機器を上手に使っていますか。ICT機器とは、スマートフォンやコンピュータなどのことです。今日は、ICT機器とのよりよいつき合い方について紹介します。

A

以上で発表を終わります。

問題2

【発表原稿】のAに入る内容を、資料①・②・③のそれぞれの情報を関連づけて、三百字以内で書きな

さい。その際、資料はどの順番で出してもよいものとする。なお、数値を書く場合は例のように書くこと

とする。

(例)

20.1

これで、検査2の問題は終わりです。